デイサービス利用者たちが毎日行っている筋力アップ体操

現場リポート

小規模多機能ホーム
ルネスふれ愛の家
（高崎市福島町）

筋力体操で脳活性化

浜川運動公園東側の住宅地の奥、唐沢川沿いに、アパートのような鉄骨2階建ての1階部分を利用した介護サービスの拠点施設がある。小規模多機能型居宅介護施設として、デイサービス、短期入所、訪問介護の各サービスを提供している。

管理者の青木鈴子さん(59)によると、登録定員は25人で1日の定員は通い15人、泊まり9人（洋室5、和室4）。要介護1～5の62歳から100歳まで計22人が登録しており、そのうち半数は要介護2だ。ほぼ全員が認知症で、顔見知りの職員によるきめ細かいサービスを心がけている。

職員は介護福祉士5人、正・准看護師3人、ケアマネジャー1人ら計17人。夜間に幻覚、幻聴などの症状が出やすく、家族の負担が大きいレビー小体型認知症の利用者には、宿泊サービスのみ提供することも。職員が複数の勤務態勢を組んで、利用者や家族の状況に合わせて柔軟に対応している。

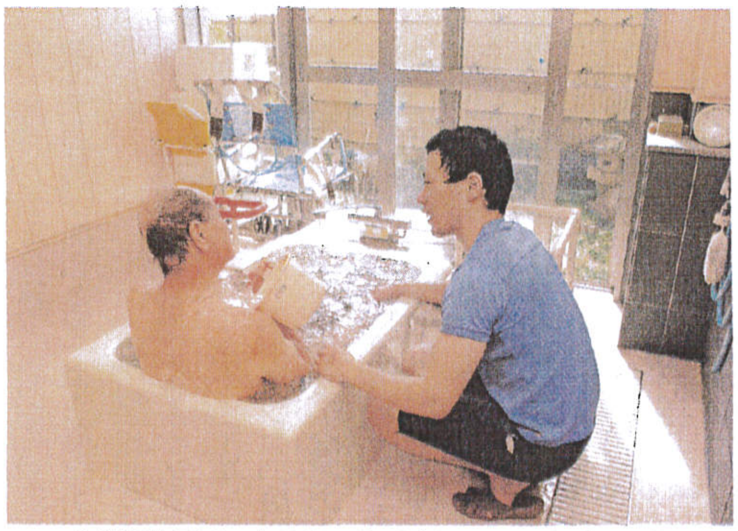
運営法人の理事長で、医師の森田豊穂さんが毎週金曜に往診してくれるのも心強い。希望すればターミナルケアにも対応し、緊急時は夜間も診療してくれる。「医療面の不安が少ないので、介護に専念できる」と青木さんは利点を強調する。

「両脚をそろえて左右に開いて」「手を前に出してグー、パーに」。食堂兼ホールで、職員の合図に合わせて、お年寄りたちが手脚を動かし始めた。デイサービスの一環で、毎日40分ほど筋力アップ体操を行っている。体操により脳が活性化され、尿意を再び感じるようになり、おむつを外せた事例もあるという。

自慢の一つが坪庭を望む開放的な約11平方㍍の浴室。中央に浴槽が置かれ、南側の竹垣で囲った庭には草木や石灯籠が配置されている。できるだけ自分の力で入浴できるように、浴槽を中央に設けることで手助けしやすくしている。入浴中の男性は「とても気持ちいい」と笑顔だった。

1カ月の介護料金は介護の必要度により異なり、4469円（要支援1）～2万8120円（介護度5）。認知症程度などにより料金が加算される。宿泊費は1泊1800円。食費は朝400円、昼・夕500円、おやつ150円。日常品費用も別途必要。

【メモ】▽運営主体　社会福祉法人二之沢真福会（森田豊穂理事長）▽開設　2007年▽登録定員　25人▽☎027・372・0017



介護職員と会話しながら入浴を楽しむ利用者。中央の浴槽から南側の坪庭を望める

自慢です

青木鈴子管理者

地域の交流拠点に

5年前の開設時から地域密着で運営しており、奇数月には利用者の家族や地域住民を対象にした認知症などの介護教室を開催。偶数月には地元の民生委員や区長、老人会長らから意見を聞き、施設運営に生かしている。自治会にも入り、祭りなど地域の行事に参加している。

その結果、地元の絵手紙やハンドベル、大正琴など7団体が定期的に訪れ、利用者と交流してくれるようになった。今後も地域密着をモットーに取り組み、福祉施設の枠を超えた地域の交流拠点にしていきたい。